

NOTEBOOK

令和7年度 3学年

シラバス

Harayamadai Junior high school

原中生の成長が
この **仲間** の中にある!!



堺市立 原山台中学校

〒590-0132

堺市南区原山台4丁2番1号

TEL 072-299-5135 FAX 072-299-5141

<http://harayamadai-j@sakai.ed.jp>

【令和7年度 重点目標】



新しい時代にむかってじりつ(自律・自立)できる子どもの育成

～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

①新しい時代を生き抜く子どもに必要な探究的な学びの推進

(1) 「学びのコンパス」、「堺 STEAM ブック」を踏まえた

総合的な学習と各教科の授業の関連の工夫

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



②探究的な学びに繋がる ICT 活用の推進

(1) 一人一台端末を活用した主体的な学びの推進

(2) ICT 機器を用いた個別最適な学習を推進

(3) 生徒の情報活用能力の育成



③「指導と評価の一体化」による授業改善

(1) 「学習記録、評価規準の可視化」による学習意欲の向上

(2) 「知識・技能」、「思考・判断・表現」を基に、

「主体的に学習に取り組む態度」の評価研究と授業実践

令和7年度 シラバス

第(3)学年(国語)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 3時間 年間 105 時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともにわが国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

① 教科書 ②ノート・のり ③ 書写の教科書 ④ 新基礎の学習 ⑤つまずかない文法 ⑥たびたび漢字練習帳 ⑦ 習字セット ⑧色鉛筆など	毎回の持ち物 ① ② 学校に置いておくもの ③ 家庭学習で使うもの ④ ⑤ ⑥ 必要に応じて持ってくるもの ⑦ ⑧
--	--

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・授業の根幹は先生の話です。だからこそしっかりと話を聞くことが大切になってきます。先生が話していた内容で、大切だと思ったこともノートに書き留めていきましょう。 ・班で学ぶときには、しっかりと班の人の話を聞き、自分の考えの質を高めていきましょう。疑問を共有することが大切です。 ・課題としっかりと向き合い、思考力のトレーニングをおこなっていきましょう。人は考えているときにどんどん力がついていきます。	・家庭ではワークを使って学習をしてもらいます。提出日や提出範囲を指示することもあります。授業に沿って自分で学習を進めていきましょう。特に漢字については、普段から習ったものを使う習慣をつけてください。 ・授業中に終わらなかった課題は、宿題になります。家で調べて、考えて取り組んでいきましょう。	・まずは授業をまとめたノートをしっかりと見直しましょう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましょう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組みましょう。答え合わせを自分で行い、自分で学習を進めることで、確かな力がついていくはずですよ。 ・テスト返却時、解説をしっかりと聞き、振り返る

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	世界はうつくしいと 握手 意見を聴き、適切さを判断する 説得力のある構成を考えよう	9月	「私の一冊」を探しに行こう 漢字の造語力 挨拶 故郷 論理の展開を捉える	1月	合意形成に向けて話し合おう 温かいスープ アラスカとの出会い
5月	学びて時に之を習ふ、作られた「物語」を超えて 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書こう	10月	聞き上手になろう 慣用句 ことわざ 故事成語 複数の意見を読んで考えよう 考えを効果的に伝えよう	2月	律儀な桜 私をたばねないで 初日
6月	俳句の可能性 熟語の読み方 俳句の創作教室 俳句を味わう	11月	初恋 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 君待つと 夏草	3月	三年間の歩みをふりかえろう
7月	言葉の約り糸を垂らす 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	12月	古典名作選 それでも言葉をも 話し合いを効果的に進めよう		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	言葉の特徴 使い方(漢字・語句・文法) 情報の扱い方(情報の整理や活用) 伝統的な言語文化(古文や韻文の知識) (書写)	ペーパーテスト 小テスト レポート ワークシート テスト 作品
思考・判断・表現	話すこと 聞くこと 書くこと 読むこと	聴き取りテスト スピーチ 話し合い 作文課題 ワークシート ワークシート テスト
主体的に学習に取り組む態度	粘り強い取り組み 自己調整力	提出物 授業態度の見取り ノートの記述状況 ワークシートの記述 ふりかえりプリント

令和7年度 シラバス

第(3)学年(社会)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成 ～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することをめざす。

(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 使用教材と持ち物一覧

① 教科書(歴史, 公民) ② ワーク(公民は白プリント) ③ ノート ④ 地図帳	毎回の持ち物 ① ③ 学校に置いておいてもよいもの ④ 家庭学習で使うもの ① ② ③
--	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・学習目標を明確にし、今までの学習を踏まえ、毎回の授業を主体的に取り組みましよう。 ・「なぜ」という疑問を大事にしましよう。授業内で課題を考えるときは、教科書や今までの学習を踏まえて自分で考え、自分の意見をプリントに記入しましよう。 ・考えたことは発表し聞くことで考えを深め広げる。最後には、わかったことを確かめ、学んだことが活用できるよさを実感しましよう。 ☆わからなければ、となりの人や先生に聴く。わからないままおいておかない。	・毎回の授業プリントの終わりに振り返りの欄をつくっています。その日学んだ内容はその日のうちに振り返ることで知識が定着しましよう。 ・家庭ではワークを使って学習をしてもらいます。提出日や提出範囲を指示することもありますが、授業に沿って自分で学習を進めていしましよう。 ・家庭学習で出た疑問は置いておらずに学校に来たときに解決するようしましよう。	・まずは授業をまとめたプリントをしっかりと見直しましよう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましよう。 ・教科書やワークにある資料をよく見て、その資料から分かることは何か、などの読み取る力を伸ばしましよう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組みましよう。答え合わせを自分で行い、自分で学習を進めましよう。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	【歴史】近代国家の歩みと国際社会	9月	【公民】私たちが現代社会	1月	【公民】私たちが国際社会
5月	【歴史】二度の世界大戦と日本	10月	【公民】私たちの生活と政治	2月	【公民】私たちの課題
6月	【歴史】現在に続く日本と世界	11月	【公民】私たちの生活と経済	3月	
7月		12月			

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期テスト・小テスト・ワークの取り組み・授業ノートの取り組み
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期テスト・小テスト・授業ノートの取り組み・レポート課題
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト・小テスト・レポート課題・授業ノートのふりかえり・授業態度の見取り

令和7年度 シラバス

第(3)学年(数学)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 4 時間 年間 140 時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

- (1) 数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深める。
- (2) 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする事、ならびに粘り強く取り組む態度を育てる。

2. 使用教材と持ち物一覧

①ファイル ②ワーク(数学の学習ノート) ③教科書 ④タブレット ⑤マイペース	持ち物・・・①②④⑤(必要に応じて③)
---	---------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
① 粘り強く課題に取り組む。 ② 主体的に課題に取り組み、他の解法についても考える。 ③ 自分の考えを発言したり、周りの意見に耳を傾けたりする。	① 基本的な用語の意味や法則など教科書を読み直す。 ② 問題集を復習に利用するなど計画的に使用する。 ③ まちがった問題をやり直したり、同じ問題を何度も繰り返したりする。	① テスト範囲の教科書、授業用プリント、ワークの復習。提出物は期限内にする。 ② 問題は答えだけでなく、考え方や解き方を理解すること。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	式の計算	9月	関数 $y = ax^2$	1月	
5月	↓ 平方根	10月	↓ 相似な図形	2月	↓ 標本調査
6月	↓ 2次方程式	11月	↓ 円	3月	↓ 3年間のまとめ
7月	↓	12月	↓ 三平方の定理		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・用語、記号について正しく理解、表現しているか。 ・基礎的な概念、原理、法則を理解できているか。 ・様々な問題を的確に処理することができるか。	各種テスト ワーク、プリントなどの提出物
思考・判断・表現	・1つ1つの問題を様々な見方で考え、それを表現することができるか。	各種テスト ワーク、プリントなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	・提出期限を守り、課題に取り組んでいるか。 ・関心や意欲を持って主体的に授業や課題に取り組もうとしているか。 ・自分の学習を振り返り、評価・改善しようとしているか。	ワーク、プリントなどの提出物 授業中に見取り、振り返り

令和7年度 シラバス

第(3)学年(理)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して[学習過程]、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力[資質・能力]を次のとおり育成することを目指す。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ノート ③白プリント ④授業プリント	⑤マイペース	○持ち物……………①② ○学校で配布……………③④⑤
-----------------------------------	--------	-----------------------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①学習課題を的確に把握し、実験・観察に積極的に取り組む。 ②疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力する。 ③自分の良いところを伸ばし、苦手な分野にも挑戦する。	①授業で学習したことを、日常生活における事象・現象と結び付けられるよう、様々な科学的な現象に興味をもつ。 ②授業で学習したことを、その日のうちに復習する。	①テスト範囲の教科書、ノート、例題などの復習。提出は期限内にする。 ②プリント類の完成度を高める。間違ったところを理解できるまで取り組む。 ③予習よりも復習に重点を置き、習ったところを何回も繰り返し練習し、自信をつけること。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	生命の連続性	9月	化学変化とイオン	1月	自然環境や科学技術と私たちの未来
5月		10月		2月	
6月	地球と宇宙	11月	運動とエネルギー	3月	
7月		12月			

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・自然事象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 ・科学的探究についての基本的理解 ・探究のために必要な観察・実験等の基本的な技能	定期試験、実力試験、小テスト、実験レポートの結果
思考・判断・表現	・自然事象の中で問題を見いだして見通しをもって課題や仮説を設定する力 ・計画を立て、観察・実験する力 ・得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探求力と科学的な根拠を基に表現する力 ・探究の過程における妥当性を検討するなど総合的に振り返る力	定期試験、実力試験、実験レポートの考察
主体的に学習に取り組む態度	・自然を敬い、自然事象に進んでかかわる態度 ・日常生活との関連、科学することの面白さや有用性に気付く力	授業、実験への取り組みかたや態度、提出物・ノート、問題集などの取り組み姿勢

令和7年度 シラバス

第(3)学年(音楽)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週1時間 年間35時間

新しい時代におかかってじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
(1)その曲想と構造との関係、音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現ができるようにする。
(2)音楽の表現を創意工夫することや、その音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3)主体的・協同的に学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書(一般)②教科書(一般)③教科書(器楽) ④ミュージックスタディ⑤アルトリコーダー⑥筆記用具⑦ファイル	毎回の持ち物①②③④⑥⑦ 学校置いていいもの①②③④⑦ 音楽室で預かるもの⑤
--	--

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・その音楽や音楽文化親しもう、楽しもう、みんなと協力して一生懸命・積極的に学習活動しようとする。 ・ワークを使いながら授業を進めることがあるので必ず教科書と照らしながら意欲を高めるようにする。	・授業で、学習した音楽を、楽しくロザさんだ表現したり表現を持って聞いたりして生活の中に活かしてみる。 ・様々な、ジャンル、国の音楽に親しんでみる。	・実技テストは、ぶっつけ本番ではなく、歌ったり、イメージ演奏練習などをして臨む。 ・授業で学習したことはよく復習する。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	校歌(歌唱)花(歌唱)リコーダー(威風堂々) 花(歌唱)早春賦(歌唱)	9月	ポピュラー音楽 世界の諸民族の音楽 合唱コンクール曲	1月	歌唱テスト(帰れソレントへ) 音楽史
5月	花の街(歌唱)文楽(鑑賞) 実技歌唱テスト(花)	10月	合唱コンクール曲 合唱コンクール曲	2月	式典音楽 国歌 式典音楽 国歌
6月	歌舞伎(鑑賞) ブルタバ(鑑賞)	11月	ボレロ(鑑賞) 実技リコーダーテスト(ボレロ、ブルタバ)	3月	式典音楽 国歌
7月	著作権、リコーダー(ボレロ、ブルタバ) 合唱について	12月	ソレントへ(歌唱)組曲「展覧会の絵」		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・曲想と音楽の構造などについての理解 ・音楽の多様性についての理解 ・創意工夫を生かした音楽表現の技能	・筆記テスト・ワークシート ・実技テスト・授業での見取り
思考・判断・表現	・音楽表現への思いやりや意図 ・音楽を自分なりに評価し、味わうこと	・筆記テスト・ワークシート ・実技テスト・授業での見取り
主体的に学習に取り組む態度	・音楽に親しみ楽しもうとする姿勢 ・主体的、協同的な姿勢	・筆記テスト・ワークシート ・実技テスト・授業での見取り

令和7年度 シラバス

第(3)学年(美術)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 1 時間 1年間 35 時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書・美術資料・色鉛筆(12色以上)・筆記用具(鉛筆・消しゴム・定規を含む) ②絵具セット・スケッチブック	持ち物…①のものすべて 学校においてよいもの…①すべて 美術室保管…②絵具セット・スケッチブック (スケッチブックは学校で配布)
--	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
美術の授業は作品制作、表現することが中心です。また、表現を下支えする技術もしっかりと取り組むことが大切です。また、鑑賞を通じて知ったいろいろな作品を見て「いいな」「面白いな」など、感動してください。	普段の生活の中で、「美しいな」、「不思議だな」、「面白いな」と思うことが大切です。 自然の中、町の中、部屋の中、自分の中、いろんなところに美しさや不思議さ、面白さが潜んでいます。アイデアを見つけてください。	教科書、資料集、プリントをもう一度見直してください。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	オリエンテーション ↓	9月	鑑賞 ●作品制作(ボックスアート)	1月	鑑賞(工芸) 日本美術模写
5月	●作品制作 絵画表現(写実画) ↓	10月	↓	2月	↓
6月	●作品制作 絵画表現(抽象画) ↓ ↓	11月	↓	3月	鑑賞
7月	鑑賞	12月	●作品制作(デジタル表現) 鑑賞		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	基礎的な表現方法の習得 基礎知識の理解	ワークシート 定期テスト
思考・判断・表現	発想力(イメージ展開の豊かさ) 応用力(意図に応じて創意工夫ができるか) 作品の完成度	アイデアスケッチ および作品
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞課題への興味・関心 作品に取り組む粘り強さ 積極的な授業の取り組み 期限内に課題をやり遂げることができているか。	提出物 制作態度 授業態度 提出物(ワークシート)および提出作品

令和7年度 シラバス

第(3)学年(保健体育)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 3 時間 年間 105 時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

【体育分野】

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野】

- ①個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ③生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う

2. 使用教材と持ち物一覧

- ①教科書「新しい保健体育」
- ②実技書「中学体育実技」
- ③体操服(水泳期間:水着・水泳帽・ゴーグル・タオル)
- ④体育館シューズ
- ⑤配布資料(ファイルまたは、ノート)
- ⑥タブレット(必要な時)

- 持ち物:①②③④⑤⑥(授業で連絡します。)
○学校において良いもの:①②④⑤⑥

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①積極的に取り組む。 ②自己の課題を見つけ、解決に向けて、思考・判断表現する。 ③仲間と協力し、自己の役割を果たす。 ④健康や安全に留意し、自己の最善を尽くす。	①汗をかくくらいの適度な運動をしよう。 ②バランスの良い食事をとろう。 ③十分な睡眠時間をとろう。 ④スポーツを観戦するなど運動やスポーツに触れる機会を持つ。 ⑤授業で習ったことを復習し、教科書などを参考に知識技能を深めよう。	①教科書・実技書を理解が深まるまで読む。 ②配布プリントや資料を個人でノートやファイルにまとめて見直しをする。 ③授業で学んだポイントやコツを確認し、表現できるようにしておく。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	体づくり運動 (新体力テスト関連)	9月	体育理論3章1～3	1月	保健6章6～8
5月	陸上競技 (短距離走・リレー)	10月	ダンス	2月	ネット型球技 (テニス)
6月	水泳 (バタフライ・メドレー)	11月	ゴール型球技 (バスケットボール)	3月	ネット型球技 (バドミントン・卓球)
7月	保健5章1～5	12月	保健6章1～5		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性を理解する。 ・基本的な技能を身に付ける。 ・運動やスポーツが多様であることを理解する。	定期テスト 実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の言動
思考・判断・表現	・自己の課題を発見する。 ・合理的な解決に向けて思考、判断する。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	定期テスト 実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の言動
主体的に学習に取り組む態度	・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認める。 ・健康・安全に留意し、自己の最善を尽くし運動をする。	実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の態度

令和7年度 シラバス

第(3)学年(技術)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 0.5 時間 年間 17.5 時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

栽培実習、情報・制御実習を通じて生活に役立つ技能及び現代社会に必要な生活に関する知識の習得にあたる。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ハンドノート ③授業プリント ④実習教材	○持ち物…①・② ○学校で配布…③・④
-------------------------------------	------------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①ポイントとなることをしっかりとおさえる。 ②ハンドノートにしっかりと取り組む。 ③どうすればより完成度の高い作品ができるか考えながら実習に取り組む。	①教科書やハンドノートの内容の理解を深める。 ②ものづくりに関心を持つ。	①教科書、ハンドノート、その他プリントなど、授業で取り組んだ内容を振り返る。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	オリエンテーション	9月	生物育成の技術による問題解決	1月	計測・制御のプログラミングによる問題解決
5月	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 栽培実習	10月	↓	2月	社会の発展と情報の技術 ↓
6月	↓	11月		情報の技術の原理・法則と仕組み	
7月		↓	12月	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	・定期テスト ・実習での技能テスト ・実習作品 ・ワークシート
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・定期テスト ・実習作品 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	・定期テスト ・実習、授業態度 ・実習作品 ・ワークシート

令和7年度 シラバス

第(3)学年(家庭)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週0.5時間 年間17.5時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して、課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ノート ③ハンドノート(ワーク)	毎回もってくるもの ① ② ③ 実習に必要なものは、適宜連絡します。
------------------------------	---------------------------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・授業の根幹は先生の話です。だからこそしっかりと話を聞くことが大切になってきます。先生が話していた内容で、大切だと思ったこともノートに書き留めていきましょう。 ・班で学ぶときには、しっかりと班の人の話を聞き、自分の考えの質を高めていきましょう。疑問を共有することが大切です。	・授業で習ったことで、家庭で実践できることは実践してみましょう。 ・授業中に終わらなかった課題は、宿題になります。家で調べて、考えて取り組んでいきましょう。	・まずは授業をまとめたノートをしっかりと見直しましょう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましょう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組ましましょう。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	住まいの役割と安全な住まい方	9月	災害への対応	1月	魚の調理 日本の食文化と和食の調理
5月	住まいと気候風土と関わり	10月	消費者の権利と責任	2月	
6月	健康で快適な室内環境	11月	省エネルギーと持続可能な社会	3月	
7月	家族の住まいを安全・安心に	12月	持続可能な消費生活		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	家庭生活についての基礎的、基本的な知識を身につけているか。	テスト 実技
思考・判断・表現	家庭生活についての課題を見つけ、自分なりの工夫を考えることができているか。	テスト ワークシート レポート課題
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活と消費、環境への配慮について関心をもって学習活動に取り組み、よりよい生活を実践しようとしているか。	ワークシート レポート課題

令和7年度 シラバス

第(3)学年(英語)科

令和7年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代におかたてじりつ(自律・自立)できる子どもの育成
～誰一人取り残さない温もりのある教育の推進～

1. 到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ノート ③ファイル ④新英語のワーク3 ⑤マイペース	毎回使うもの ①、②、③ 家庭学習で使うもの すべて 必要に応じて持ってくるもの ④、⑤
--	--

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①積極的に授業に参加しましょう。 ②コミュニケーション活動をするときは、必ず英語で行いましょう。わからない時は、ジェスチャー等で反応しましょう。 ③グループ活動、ペア活動など積極的に行い、困っている仲間を助けましょう。 ④聞くとき、話すとき、書くとき、読むときのメリハリをつけましょう。	①忘れ物をしないように準備する ②宿題、課題を必ずする ③ノート、ワークブック等で復習を家庭で計画的、継続的に学習する。 ④やりとりをして表現したかったが、わからなかった単語等を調べて、次の授業につなげる。 ⑤教科書の音読をしっかりとる。	①ノート、ワークブック等提出物の確認。 ②プリント、ワークブック、ノートを見直し、間違ったところをもう一度やるなど、復習し完成度を高め理解力を高める。 ③教科書の音読をしっかりとる。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	Unit 1 Virtual Safari Tour	9月	Unit 4 AI Technology and Languages	1月	Unit 7 Tina's Speech
5月	Daily Life 1 計画を立てよう Unit 2 Our School Trip Daily Life 2 留守番電話	10月	Let's Read 2 Living with Robots Daily Life 3 レシピ Unit 5 My Dreams for the Future	2月	Let's Read 3 Changing The World Active Grammar 3 Unit 8 Good bye, Tina
6月	Unit 3 Lessons From Hiroshima Active Grammar 1	11月	Daily Life 4 講演 Unit 6 The Chorus Contest	3月	You Can Do It! 3 Let's Read More 1 Let's Read More 2 Let's Read More 3
7月	Let's Read 1 Visas for 6000 Lives You Can Do It! 1 World Tour 1	12月	Active Grammar 2 You can do it! 2 World Tour 2		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	話すこと(やりとり・発表) 聞くこと・書くこと・読むこと	定期テスト・小テスト・授業(ワークシート) パフォーマンステストなど
思考・判断・表現	話すこと(やりとり・発表) 聞くこと・書くこと・読むこと	定期テスト・小テスト・ワークシート グループワーク・パフォーマンステストなど
主体的に学習に取り組む態度	粘り強い取り組み 自己調整力	グループワーク・パフォーマンステスト(発表) リーディング・NS活動・ワークシート・提出物など

R7年度の定期試験、学力診断テストの予定

3年	全国学力学習調査	4/16(水)、4/17(木)
3年	第1回学力診断テスト	5/7(金)
1年	IRTを活用した堺市学力学習調査	5/9(金)
2年	IRTを活用した堺市学力学習調査	6/5(木)
全学年	第1回定期テスト	6/23(月)、24(火)、25(水)
3年	チャレンジテスト	9/2(火)
3年	第2回学力診断テスト	9/16(火)
全学年	第2回定期テスト	9/25(木) 9/26(金)
3年	第3回学力診断テスト	11/7(金)
全学年	第3回定期テスト	11/26(水)、27(木)、28(金)
1・2年	チャレンジテスト	1/14(水)
3年	第4回学力診断テスト	1/14(水)
3年	卒業テスト(学年末試験)	1/26(月)、27(火)、28(水)
1・2年	第4回定期テスト	2/25(水)、26(木)、27(金)
3年	公立対応学力診断テスト	2/25(水)、26(木)

※4/18現在の予定です。変更が生じましたら、その都度お知らせいたします。